

| | |
|------|--|
| 受験番号 | |
| 得点 | |

問 1

| | | | |
|---|---|---|---|
| a | b | c | d |
| e | f | g | |

問 2

| |
|--|
| |
|--|

問 3

| |
|--|
| |
|--|

問 4

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

心情

問 5

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

問 6

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| | | | | |
|--|--|--|--|--|

問 7

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

二

問 1

| | | | |
|---|---|---|---|
| a | b | c | d |
|---|---|---|---|

問 2

| | | |
|---|---|---|
| A | B | C |
|---|---|---|

問 3

| | |
|---|----|
| I | II |
|---|----|

問 4

| |
|--|
| |
|--|

問 5

| |
|--|
| |
|--|

問 6

| |
|--|
| |
|--|

があるかないか

三

問 1

| | |
|---|---|
| a | b |
|---|---|

問 2

| | |
|---|---|
| A | B |
|---|---|

問 3

| |
|--|
| |
|--|

問 4

| | | | |
|--|--|--|--|
| | | | |
|--|--|--|--|

問 5

| |
|--|
| |
|--|

問題の作成上、文章を一部変更している箇所があります。
特に指示の無い限り、句読点・記号は一字に教えます。

受験番号

一次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

僕にとってのナルニアとの出会いは、大人になってからだ。

僕の子どもの時代、学校の図書館の棚にひっそり置かれていた児童文学は、一部の人だけに愛好されているものといった印象だった。^{※1}『ナルニア国物語』も、女たちの間で話題にのぼった①はない。

自分に子どもができてから、夜なかなか寝てくれない子どもたちに絵本の読み聞かせを始めた。

やがて子どもが大きくなるにつれて、どんなものを選ばいいのか迷うようになった。そんなころ、クリスマス・プレゼントとして『ライオンと魔女』など『ナルニア国物語』の教冊を買ったのだ。『キリスト教の精髄』や『悪魔の手紙』といったキリスト教著作で有名なC・S・ルイスの書いた児童文学だ。子どもたちにキリスト教信仰を持ってもらいたいという、クリスチヤンの親ならではの②心もあった。ただ、長い話だし、子どもたちも①親の思惑を見抜いているから、なかなか絵本時代のように読み聞かせはうまくいかなかった。このころから、親子で物語の世界に入っていくという、いま思えば幸福な時間を持つことが少なくなった気がする。

そういうわけで、僕のナルニアとの最初の出会いは、^{※2}苦い思い出だけが残っていたのだが、最近、改めてひとりでその物語世界に入ってみた。そして、ナルニアでの冒険を終えて、衣装だんすを脱ぎ、^{※3}こちらの世界に戻るとき、学者先生から「もちろん、きみたちは、またいつか、きつとナルニアに戻るよ」という言葉をかけられて本を閉じた時には、言いしれぬ深い^{※4}歎び、つまり、^{※5}確かにアスランの待つあのナルニアが僕にはあるのだという感動に包まれていた。

『ナルニア国物語』のテーマは、信じること(善)と信じないこと(悪)との戦いだ。

訳者の瀬田貞二氏が^{※6}『ライオンと魔女』のあとがきに、この物語は「人間のなかにある永遠の善と悪の戦い」を^aシヨウチョウ^bしている^cと書いている。それは、^{※7}エドモンドが白い魔女の誘惑に負けて悪の側についたという単純なことばかりではない。『ライオンと魔女』では、魔女によって終わりのない冬の中に置かれ、続く^{※8}『カスピアン王子のつぼえ』では、テルマール人によって追放されていたナルニアで、それでもアスランのことを信じて待ち続ける者は少ない。また、主人公の子どもたちもアスランのことを忘れて、あるいはアスランのことが見えずに自分勝手な判断で行動するといった間違いをしばしば^bかしている。

そういうことは、だれもが心当たりがあるのではないだろうか。悪いことばかり続いて何も信じられず、希望を持ってない時はなおさらだ。

そんな時こそ、ぜひ『ナルニア国物語』を読んでほしい。「それでも信じよう」という勇気と新しい力が湧いてくること間違いない。

しかし、「明日を信じよう」と思ったところで、何を^cコンキョウ^dにして、何に信頼して明日を信じるかが問題だ。人間の^dシンネン^eや希望なんて、まわりの^{※9}ネガティブな環境や人々によって簡単につぶされてしまうからだ。

C・S・ルイスはこの『ナルニア国物語』で、キリスト教信仰が持つ本当の希望―深い歎びを^{※10}示そうとしていると思う。それも、お説教としてではなく、あくまでも豊かな^{※11}イマジネーションによってそれを^{※12}目ざと語らせているところが、じつにすごい。

キリスト教に触れることの少ないこの日本では、その点がなかなか理解されにくい。いや、C・S・ルイス自身、子どもからもらったファンレターへの返事に書いているように、たとえキリスト教国であつても、それが分かる人は^eアンガイ^f少ないようだ。

〈あなたは、『ナルニア国物語』のなかにもう一つお話が^{※13}カク^gされていることに気づいたそうですね。それを聞いてとてもうれしく思っています。子どもはほとんどいつもそれに気づくのですが、大人はだいたい、誰も気がつきません。おかしなことです〉(『子どもたちへの手紙』)

とはいえ、この『ナルニア国物語』には、「キリスト」という言葉も、「信仰」という言葉も出てこない。エピソードの

クされた意味をいちいち説明するなど、^{※9}野暮なこともしない。だから、^③知らない人も十分に楽しめるし、知っている人は著者のウイックに「なるほど」とうなづいて、もつと深く楽しめる作品になっているのだ。

自己中心的になつたり、誘惑に負けそうになつたりする子どもたちが成長するストーリー展開が、「もう一つのクされた物語」という重奏低音に支えられて、より豊かな響きを奏でている。聖書のことを知っているいないにかかわらず、それを感ぜられる柔らかい心の持ち主に、この物語が^④深い魂の反応を引き起こすことに成功している事実は、子どもたちからの手紙を見れば明らかだ。

ただ、C・S・ルイスは、キリスト教を分かりやすく伝えるために、このようなアジャクシーという手段を使ったのではない。出発点がむしろ逆で、子どもにも分かる言葉で、^{lg}難しいギロンなどを省いて、リズムカルに物語を進めることが要求される物語だからこそ、子どもたちに純粋に、ストレートに伝えられるものがあると思つたのだ。

それは、説教くささとか押しつけがましさとは無縁の、ルイス自身が持っているシンプルな感動、(歎び) だつたのではないだろうか。

出典：雑賀信行著『早わかり ナルニア国物語とC・S・ルイス』

【註】

- ※1・4・6・・・ 児童文学のシリーズ名。
- ※2・3・5・・・ 作品中の登場人物名
- ※7 ネガティブ・・・ 否定的
- ※8 イマジネーション・・・ 想像力
- ※9 野暮・・・ 洗練されていない様子

問1 傍線部 a、g について、カタカナを漢字に改めなさい。

問2 ① にふさわしい二字の熟語を次から選んで、記号で答えなさい。

ア 報告 イ 認識 ウ 知識 エ 記憶

問3 ② にふさわしい漢字を次から選んで、記号で答えなさい。

ア 親 イ 下 ウ 本 エ 改

問4 二重傍線部①「親の思惑」とは、どのような心情か。本文中の二十五字の部分抜き出し、解答欄を補いなさい。

問5 二重傍線部②「苦い思い出」とはどのような思い出か、四十字以内で記しなさい。

問6 二重傍線部③「知らない人も十分に楽しめるし、知っている人は著者のウイックに『なるほど』とうなづいて、もつと深く楽しめる作品になっているのだ」について、何を「知らない」「知っている」なのか、本文中の五字の語句で答えなさい。

問7 二重傍線部④「深い魂の反応を引き起こすこと」とはどのようなことか、本文中の三十字以内の部分抜き出しなさい。

二次の詩とその解説文を読んで、後の問いに答えなさい。

女よ

まず第一に言っておこう

僕から世間並の[※]友誼などを決して望むな

僕は君の栄達など決して望まぬ

君の¹¹ちいさな幸福などを決して祈らぬ

君は見るだろう

僕が逆境の友を多く持ち^①順境の友をどしどし失うのを

なぜだろう

逆風の時に持っていた魂を順風と共に捨てる人間が多いからだ

※2 僕に特惠国は無い

僕に固定の友は無い

友とは同じ一本の覚悟を持った道づれの事だ

世間さまを押し渡る相棒だと僕を思うな

百の友があつても一人は一人だ

調子に乗らずに地でゆこう

お互いにお互いの実質だけで沢山だ

その上でキケンな路をも愉快に歩こう

それでいいのだと君は思ってくれるだろうか

人間は親しくなると、必ず、相手を**b**に利用する。親しさを武器に相手から、何がしかの利益と情報とを得たがりま
す。(A)、そうしてくれるのが、本当の友たちだと固く信じています。

(B)、それは本当の友たちなのではないでしょうか。私たちはただ、それが本当の友たちだと信じているだけなのではないでしょ
うか。

自分が利益と情報を得ることは、自分が相手に、利益と情報とを**c**に利用することです。自分が相手に、相手のために、
利用されることです。

※3 光太郎は、自分と友人との間に、そんな変な利害関係の生まれるのを恐れました。

自分が相手を利用することはもちろん、自分が他人に利用されることがどうにもがまんできなかつたのです。それは自分
自身を恥ずかしめることだからです。

光太郎が他人に何を期待せず、(C)、自分が期待されるのを拒んだのは、そのためでした。それは、ある意味で、冷た
い人間関係に見えますが、決してそうではなく、精神の独立を第一と考える光太郎にとっては、当然あるべき姿だつたので
す。

出典：萩原昌好 編『少年少女のための日本名詩選集・高村光太郎』

【語注】

※1 友誼(ゆうぎ)・・・友たちとしての親しいつきあい

※2 特惠国・・・特別待遇をしてくれる国

※3 光太郎・・・大正・昭和期の詩人、高村光太郎

問1 傍線部 a、d について。漢字はひらがなに、カタカナは漢字に改めなさい。

問2 () A・B・C を補うべき語を次から選び、記号で答えなさい。

ア けれど イ そして ウ たとえば エ また オ だから

問3 傍線部 I「ちいさな」II「無い」の品詞名を答えなさい。

問4 二重傍線部①「順境の友」を言い換えた部分を詩の中から抜き出さなさい。

問5 二重傍線部②「同じ一本の覚悟」とはどのようなことか。次から選び、記号で答えなさい。

ア 世間並の友誼 イ 利益と情報 ウ 冷たい人間関係 エ 精神の独立

問6 「私たちが、本当の友たちと信じているだけのもの」と、この詩が述べる「本当の友たち」との相違は、どのような
ことがあるかないかの違いなのか、本文中の熟語を抜き出して答えなさい。

三 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

※1 これも今は昔、下野武正といふ舎人は法性寺殿に候ひけり。ある折、大風、大雨ふりて、京中の家みなこぼれ破れけるに、

※4 殿下、※5 近衛殿におはしましけるに、南面の方にのしる者の声しけり。誰ならんと思し召して見せ給ふに、武正、※6 赤香の上下に蓑笠を着て、蓑の上に繩を帯にして、※7 檜笠の上をまた頭に繩にてからげつけて、※8 鹿杖をつきて走りまはりて行ふなりけり。大方その姿おびたしく、似るべき物なし。殿、南面へ出でて御簾より御覧するに、あさましく思し召して、御馬をなん賜ひける。

【語注】

- ※1 下野武正（しもつけのたけまさ）・・・人物名。下野武忠の子
- ※2 香人（とねり）・・・皇族や摂関などの雑役に従事した侍
- ※3 法性寺殿・・・人物の呼称。藤原忠通。
- ※4 殿下・・・敬称。ここでは忠通のこと。
- ※5 近衛殿・・・忠通の邸宅
- ※6 赤香の上下・・・黄みを帯びた濃い赤の上着とはかまどが同質、同色の日常着
- ※7 頭（おとがい）・・・あご
- ※8 鹿杖（かせづえ）・・・鹿の杖のように先端がふたまたになっている杖
- ※9 御簾（みす）・・・すだれ

出典：宇治拾遺物語 卷八「下野武正、大風雨の日、法性寺殿に参る事」

問1 傍線部 a・b の読みを現代かなづかいで答えなさい。

問2 傍線部 A「見せ給ふ」、B「繩を帯にして」の主語を次から選び、記号で答えなさい。

- ア 下野武正 イ 藤原忠通 ウ 雨 エ 蓑笠

問3 二重傍線部①「あさましく思し召して」の日本語訳を次から選び、記号で答えなさい。

- ア 情けないと思われて イ ずうずうしいと思つて
ウ びっくりしてしまつて エ たいしたことだと感心なざつて

問4 二重傍線部②「御馬をなん賜ひける」の文末「ける」は「過去の助動詞（けり）の連体形」になっている。

その理由を説明した次の文章の空欄に適切な語句を補いなさい。

《答》「なん」という助詞が文中に用いられたため、文末が終止形ではなくなった。

このような法則を

| | | | |
|--|--|--|--|
| | | | |
|--|--|--|--|

 の法則という。

問5 この文章の内容にあうものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 大雨や大風にさらされても、京の家々はまったく被害を受けなかった。
イ 武正は、自ら蓑笠をつけて熱心に働き、忠通を感嘆させた。
ウ 忠通は、武正の仕事ぶりに気付かなかったが、後で人から聞き知った。
エ 武正は、屋敷の様子を見て驚き、なんの準備もせず仕事に取りかかった。